

## 令和3年度 鹿屋市市政モニター 第4回アンケート集計

○テーマ：鹿屋市の畜産臭気について

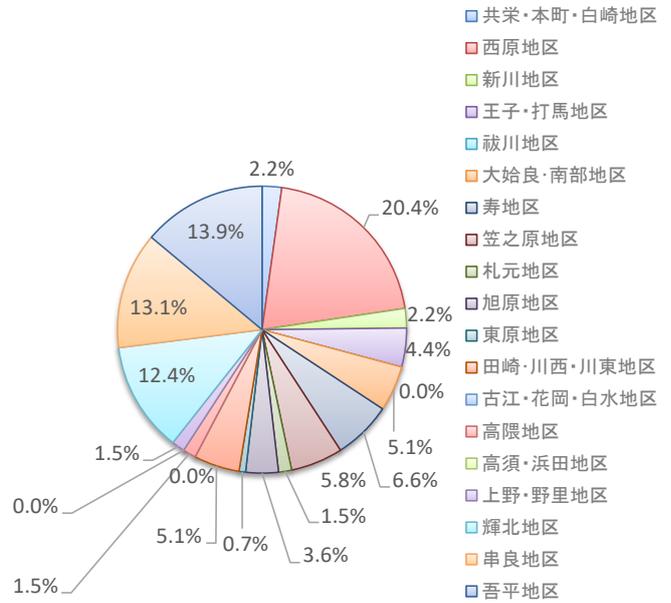
○調査期間：令和3年12月6日（月）～令和3年12月24日（金）

○回収結果：送付数：200人、回答数154人、回答率77%

【鹿屋市内にお住まいの方のみ対象（Q1からQ12まで）】

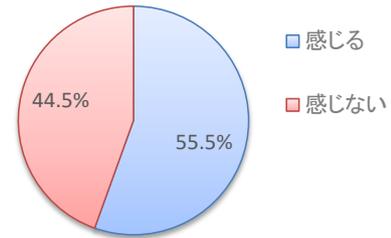
Q1:お住まいの地区についてお答えください。

回答	件数	割合
共栄・本町・白崎地区	3	2.2%
西原地区	28	20.4%
新川地区	3	2.2%
王子・打馬地区	6	4.4%
祓川地区	0	0.0%
大始良・南部地区	7	5.1%
寿地区	9	6.6%
笠之原地区	8	5.8%
札元地区	2	1.5%
旭原地区	5	3.6%
東原地区	1	0.7%
田崎・川西・川東地区	7	5.1%
古江・花岡・白水地区	0	0.0%
高隈地区	2	1.5%
高須・浜田地区	0	0.0%
上野・野里地区	2	1.5%
輝北地区	17	12.4%
串良地区	18	13.1%
吾平地区	19	13.9%
合計	137	100.0%



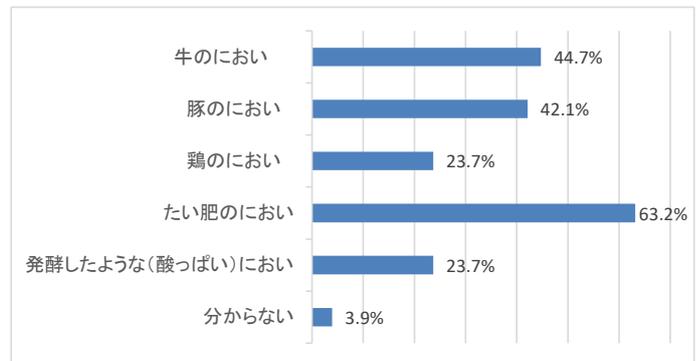
Q2:お住まいの地域で、畜産（牛・豚・鶏・たい肥等）のにおいを感じますか。

回答	件数	割合
感じる	76	55.5%
感じない	61	44.5%
合計	137	100.0%



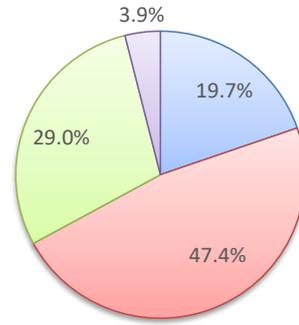
Q3:畜産のにおいは、どの種類のおいですか。（複数回答有）  
（問2で感じると回答した方のみ回答：有効回答者76名）

回答	件数	割合
牛のにおい	34	44.7%
豚のにおい	32	42.1%
鶏のにおい	18	23.7%
たい肥のにおい	48	63.2%
発酵したような（酸っぱい）におい	18	23.7%
分からない	3	3.9%



Q4:畜産のにおいは、どの程度感じますか。

回答	件数	割合
非常に強い（気分が悪くなることや不快に感じることもあり、生活に支障がある。）	15	19.7%
強い（くさいと感じて、気にはなるが、生活するうえで支障はない。）	36	47.4%
ふつう（においを感じる程度であり、それほど気にならない。）	22	29.0%
弱い（においをわずかに感じる程度であり、気にならない。）	3	3.9%
合計	76	100.0%



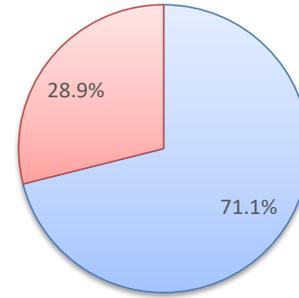
- 非常に強い（気分が悪くなることや不快に感じることもあり、生活に支障がある。）
- 強い（くさいと感じて、気にはなるが、生活するうえで支障はない。）
- ふつう（においを感じる程度であり、それほど気にならない。）
- 弱い（においをわずかに感じる程度であり、気にならない。）

Q5:畜産のにおいの発生元は、わかりますか。

回答	件数	割合
分かる	54	71.1%
分からない	22	28.9%
合計	76	100.0%

【具体的に】

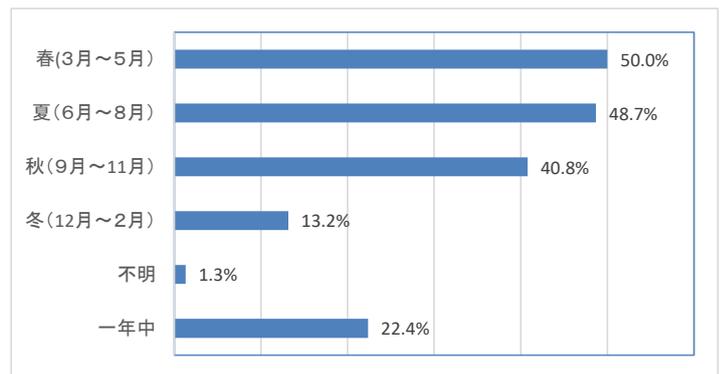
- ・近くに畜産農場（牛舎、豚舎、鶏舎）、畑がある。
- ・少し離れた場所に牛舎がある。畑の臭いは発生元がたくさん近くにある。
- ・風向きもある。多分堆肥では。
- ・川からの臭い
- ・鹿屋市全体
- ・畑に未成熟堆肥をまいている。
- ・農高が近い
- ・家のすぐそばに（市住宅や個人住宅もある）養鶏場がある。
- ・地域に牛飼いや、畜産農家が多い
- ・堆肥をしばらく畑においてある
- ・宅地の2方向に大きな畑があるが、堆肥をまいた後、すぐ耕うんしてくれる。
- ・家の周りの畑に堆肥が山積みされている。
- ・堆肥がまかれる。雨の日は川から臭う。
- ・2キロほどの距離に畜産農場があり、風向きにより臭いを感じる。近くの畑に未熟堆肥がまかれている。



- 分かる
- 分からない

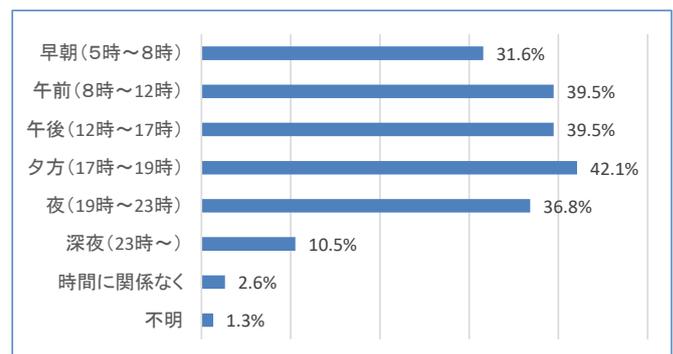
Q6:畜産のにおいを感じる季節は、いつですか。（複数回答有）  
（問2で感じると回答した方のみ回答：有効回答者76名）

回答	件数	割合
春（3月～5月）	38	50.0%
夏（6月～8月）	37	48.7%
秋（9月～11月）	31	40.8%
冬（12月～2月）	10	13.2%
不明	1	1.3%
一年中	17	22.4%



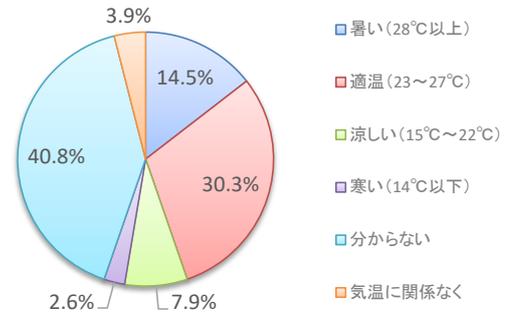
Q7:畜産のにおいを感じる時間帯は、何時ごろですか。（複数回答有）  
（問2で感じると回答した方のみ回答：有効回答者76名）

回答	件数	割合
早朝（5時～8時）	24	31.6%
午前（8時～12時）	30	39.5%
午後（12時～17時）	30	39.5%
夕方（17時～19時）	32	42.1%
夜（19時～23時）	28	36.8%
深夜（23時～）	8	10.5%
時間に関係なく	2	2.6%
不明	1	1.3%



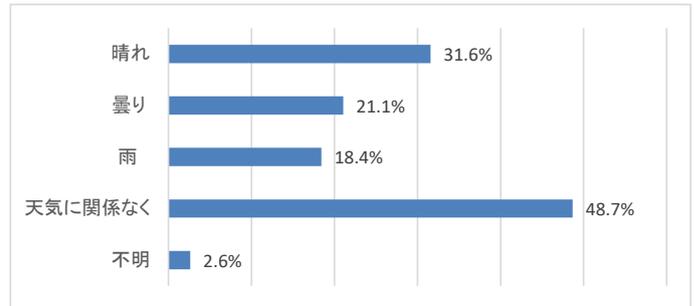
Q8: 畜産のにおいを感じる時の気温はおおむね何度くらいですか。

回答	件数	割合
暑い (28℃以上)	11	14.5%
適温 (23~27℃)	23	30.3%
涼しい (15℃~22℃)	6	7.9%
寒い (14℃以下)	2	2.6%
分からない	31	40.8%
気温に関係なく	3	3.9%
合計	76	100.0%



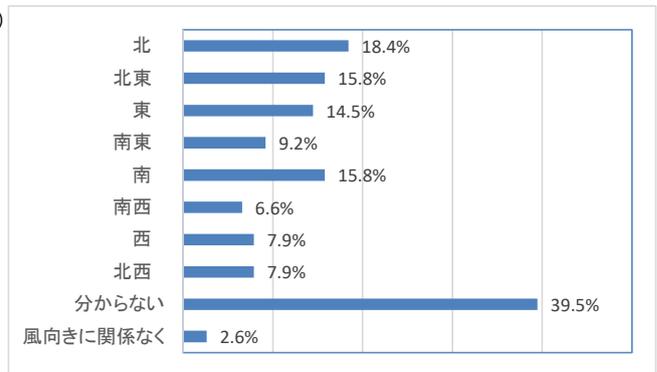
Q9: 畜産のにおいを感じる時の天候は何ですか。(複数回答有)  
(問2で感じると回答した方のみ回答: 有効回答者76名)

回答	件数	割合
晴れ	24	31.6%
曇り	16	21.1%
雨	14	18.4%
天気に関係なく	37	48.7%
不明	2	2.6%



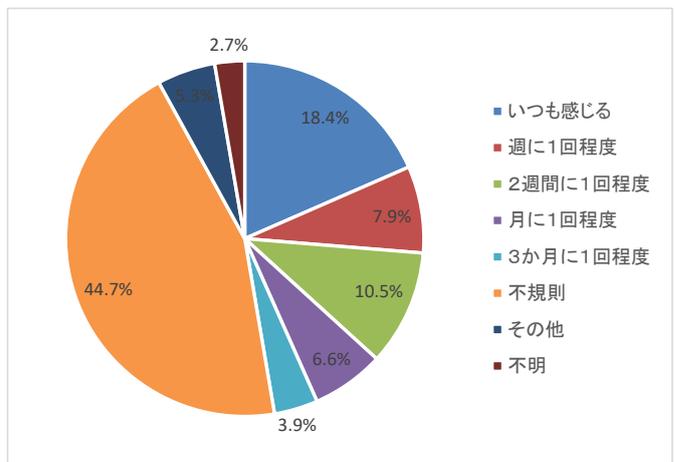
Q10: 畜産のにおいを感じる時の風向きは何ですか。(複数回答有)  
(問2で感じると回答した方のみ回答: 有効回答者76名)

回答	件数	割合
北	14	18.4%
北東	12	15.8%
東	11	14.5%
南東	7	9.2%
南	12	15.8%
南西	5	6.6%
西	6	7.9%
北西	6	7.9%
分からない	30	39.5%
風向きに関係なく	2	2.6%



Q11: 畜産のにおいを感じるひん度はどれくらいですか。

回答	件数	割合
いつも感じる	14	18.4%
週に1回程度	6	7.9%
2週間に1回程度	8	10.5%
月に1回程度	5	6.6%
3か月に1回程度	3	3.9%
不規則	34	44.7%
その他	4	5.3%
不明	2	2.7%
合計	76	100.0%



Q12: 畜産のにおいを減らすためにどのような取組が効果的だと思いますか。

(取組み)

広報誌などで警告、自覚を促す。肝属川沿い(祓川～田崎方面)に複数のモニターを依頼しチェックする。

し尿処理の強化。パトロールの強化

各畜産農家さんによる消臭の取組の実施

畜舎にも水洗トイレのような浄化槽の設備があれば良いのでは。

消臭資材の配布。畑の堆肥や肥料を臭いの少ないものにしてもらう。

飼養者が臭気を少なくする環境(飼育)作りが必要。消臭資材の配布により、飼養者の努力を促す必要かと思う。

畜産経営者の認識の高揚を図ること。臭いに慣れてしまい市街地にいる住民に対し、感じ方が鈍くなっている。

完熟たい肥にする。川に流すことも絶対に止めること。環境問題です。徹底して罰則を設けるべきです。

前回も同じようなアンケートがあったが、その結果に基づいて、行政が行った取り組みをインターネット(アプリ)や広報誌に掲載すれば効果的だと思います。

パトロールの強化。畑に堆肥は必要だが、処分場としての散布等のパトロールを強化するべき。

毛や臭いがしないように工夫して欲しい。側溝に洗った後なのかし尿が流れているのを見たりする。消臭資材(周囲の住宅や作物等に、また体に悪い影響のないもの)。実際に養鶏場に行っていたら、周囲確認と排せつ物の処理の仕方、側溝を見て欲しい。養鶏場に行ってもどのようなやり方をしているのか。聞いたり確認し、アドバイスをすることをして欲しい。住宅の人達は風向きでは季節温度に関係なく毛が飛んできたりするからみんな困っていると(洗濯物等)よく声に出されています

牛舎に堆肥をためないよう気を付けてはいるが、臭いをなくすことはなかなか難しい。特に畑に堆肥をまく時は、すぐトラクターでかかじるようにしている。

シェードをつける。ある程度は仕方ない。

堆肥を畑に置きっぱなしにしない。すぐトラクターで混ぜる(すきこむ)など。

畑の堆肥は早めに処理してほしい。

完熟の堆肥を使用してもらうことへの取組

畑に堆肥をふったらすぐ土と混ぜて耕す。

畜産については生き物のため、対応は難しいのではないのでしょうか。出物腫れ物所およばず言うので。畑の堆肥については、すぐ耕うんをお願いしたいです。

堆肥をまいた後、即耕うんすれば、少しでも臭気が軽減されると思う。

田畑に堆肥をまいたらすぐ耕うんする。畑に堆肥をそのまま貯置きしてある。嚴重注意、罰則が必要。消臭資材使用を徹底させる。上記のこと等を踏まえ、パトロールの強化を図り、徹底して指導を行う。

雨が長く降らないと、夜中であつたり、土日曜日の夜中から早朝に流しているのので現地確認をしてもらい摘発してほしい。パトロールの強化(流す事業者は特定できている)

農場の堆肥舎の管理。石灰の散布などこまめに実施するなど対策をして欲しい。

畜産農家が近くにあるので無理、消臭資材の配布

県と思われるが近くの河川を定期的に水質検査をしているようであるが、明らかに近くの田んぼの水路に畜産汚水と思われるものが流れ込んでいる。農場の近くの小さい水路を調査すべきではないか。

最近どの農場でも汚水処理設備が改善され、以前よりは臭いがなくなってきたように思われる。(前は頻繁だったが、最近は時々になっている)

農家も努力していると思いますが、天候や風向きによってはきつい臭いを感じます。消臭資材の配布も効果があるのではないかと思います。

早く畑を耕うんするようにパトロールして欲しい。

規則、基準の見直しやパトロールの強化で指導するしかないと思います。

パトロールの強化!。特にわらを燃やしている時が煙と堆肥の混ざったにおいが臭い。

畜産農家に消臭資材の使用を義務付ける。

堆肥をまいたら、すぐトラクターをかける。堆肥を放置しない。

畑への散布で消臭対策があるならば、それを指導して欲しい。また、まいてしまったら仕方ないという考えを改めるような指導もして欲しい。

夜間か雨の多い時期の川の水流の多い時に「散布」か「川への流し」があると思う。パトロールの時間帯や時期が大事。

消臭資材の配布、パトロールの強化、畜産農場への指導、臭気の値の検測

鹿屋市では畜産も大きな産業であり、ある程度の畜産の臭いは仕方のない事だと思います。畜産農場のできる範囲内で対処していただければそれでよいのかなと思います。ただ、牧草畑の生堆肥、未熟堆肥の積みおきは臭いだけでなく病害虫の発生源となるため、やめていただきたいです。ここへの周知は必要かと思っています。

行政指導とパトロールの強化。中規模以上の畜産農家へ管理された牛舎設置。中規模以上の畜産農家へ堆肥脱臭システムに対応した堆肥舎の設置推進。散布予定地200m以内への住宅へ告知。堆肥散布の時間指定。散布した堆肥への害虫、害獣対策。散布後、速やかに耕うん。

人家から堆肥等を離す。ためない、ビニール張り。即時にすきこむ等効果があるのでは?

(中立意見)
現在、マスクを付けているとあまり気にならなくなってきた。風が吹いている日には臭いも流れている気がする。
自宅は川西ですが、店は本町にあります(飲食業)。鹿屋川のすぐ横に店がありますが、夜10時過ぎ時々川がひどい臭いを感じます。この原因はなんだろうと思います。たぶん上流からの畜産の垂れ流しでは?と思います。パトロールを強化して流すことをやめていただけたらすばらしい鹿屋のまちができると思います。
分からない。畜産農家も最大限の努力はしているはず。仕方のないことだと思う。
2件の牛舎はのこずを敷いて月に1回程度堆肥を持ち出しています(屋内多数放牧)ので、この間臭いが強い時との差が出ます。サイレージなどの臭気もあるのですが、仕方のない。地場産業なので共存していくしかないのでは。
旭原地区に住んで長いので慣れてるので特に対策はなくて良いと思う。農家の方も生活のためなので仕方のないと思います。洗濯物を外に干さない(干せない)など不便なことはあるが、自分たちで工夫をすれば済むことなので慣れるしかないと思う。
牧草畑は、堆肥は拡散した後すぐにロータリーをかけられるのであまり気にならない。牛の堆肥だけならあまり臭いはしないが、豚ふん、鶏ふんが混ざってあり発酵が足りない堆肥は臭いが強いです。ジャガイモ(だったと思う)収穫後、畑に大量に放置されたものが腐り、悪臭を放っていた。とても臭かったので、あれはやめさせて欲しい。
(その他)
田畑が周りに多いところだと臭いもすると思いますが(前に住んでいたところ(旭原)は衣類に臭いがしみつきタンスから出すとき悪臭が判明。とても着れる状態ではなかったことが冬場ありました。)住宅地での臭いは鹿屋市の不利になるのでは…。効果的な取り組みは残念ながら分かりません。
正直、地方は1次産業が一番の産業であり、しょうがないと思います。臭いをなくすのは無理だと思います。
畑の堆肥なので、自宅の窓を閉めたり、洗濯物を室内に干したりするので大丈夫です。
雨の前によく感じる。
畜産を営む農家の意識改革が必要だと思います。
畜産地帯なので完全には無理。消臭資材も効果はあると思うが、持続させるにはそれなりの費用が発生するので無料配布等でない限り継続するのは難しいと思う。

【鹿屋市外にお住まいの方のみ対象(Q13)】

Q13:畜産のにおいを減らすためにどのような取組が効果的だと思いますか。また、お住まいの地域で、においを減らすための取組事例などありましたら、御記入ください。

(取組)
大変だろうが、やはり1軒1軒回るのがいいのでは?。時間帯的に日中は臭気があまりしない気がします。するのは朝や夕暮れ、夜にかけて多かった気がする。
畜舎の清掃がしっかりできることで、いくらか解消できるとすれば、当事者は日々多忙だろうからシルバー人材センター派遣とか活用はどうでしょう。臭いの緩和剤のようなものの配布。ふん尿の再利用
町内会や市から家庭用に消臭資材を配布してもらおう。
臭いが広がらないように防ぐ壁などを作る。畜産の地域を1つに集める(規制する)。住宅地域から離す。
豊かな食を生むものとして大切だと思います。マイナスよりプラスなイメージにすること。もしできるのであれば、関係の方々にお臭いを出さないようにする工夫をってもらうことやそのPRをすればみなさん理解して下さると思います。
(ネットで調べたが)デオマジックの使用。敷料にカカオ殻、コーヒー皮、豆粉を敷く。臭いの発生を抑えるように工夫をしたら良いのではと思います。
以前、鹿屋に住んでいた時は、畜産関係の仕事をしていました。エサに酵母菌などの配合でだいぶ臭いが減った様に思います。それらの推奨をしては?
消臭資材の配布
特に思いつきませんが、やっぱり消臭資材を増やすこと。消臭効果のある木材や炭を置いてみてはどうでしょうか?。あとはこまめに掃除する。静岡県湖西市では、デオマジックを導入して臭気を感じる日数が減少したそうです。
鹿屋市内在住時や帰省時は雨天明けによく川から感じました。取り締まりや罰則強化も必要かと思います。畜舎に関しては、濡れる→腐敗が臭いの原因にもなりそうなので安価な敷料や飲み水口の設置場所の工夫などが必要かと思いました。
通勤族で何ヶ所か臭いを感じる土地は住んだことがありますが、雨の日が強いなと感じましたが、雨と臭いには何か関係があるのでしょうか?。消臭ができればgoodですが、中和させるものがあればいいですね。
長崎市内在住です。近くに畜舎はありませんが、漁港が近くにあり、魚粉工場からの臭いは凄まじいです。風向き次第では洗濯物は干せないレベルです。盆暮れに鹿屋の実家(祓川町)に帰省すると近くの豚舎の臭いが流れてきます。どちらも臭いですが、農家の方も生活がありますから仕方のないと思います。臭いに耐えられないなら住宅地に引っ越すべきです。そのために都市計画法で用途地域が定められているわけですから。